防災特集



こ存じですか? 問合先 危機管理課

ック」をいくつかご紹介します。 時に役立つ簡単な「防災ライフハ 多大な労力を費やしたりしなくて とで、高価なツールを用意したり 仕事や日常生活で役立つ、ちょっ イフハック」が注目されています。 も、ちょっとしたアイデアで仕事 としたアイデアやテクニックのこ や生活の質の向上が期待できます。 最近、災害時に役立つ「防災ラ 今回の防災特集では、災害発生 「ライフハック (Lifehack)」とは:

備えて、自分の ク」を考えてみませんか? ク」の例を紹介しました。 みなさんも、いざというときに 「防災ライフハッ

新聞紙でスリッパやごみ箱が作れます



ても、7月29日出に開催された「令 とが出来ることから、本市におい

> 新聞紙から、簡単にスリッ パやごみ箱が作れます。ス ッパは、災害で室内が散 乱した時や、災害時の避難 所などで役立ちます。



毛布・シーツなどを使った搬送方法 (一人搬送)





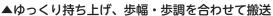
▲広げた毛布に傷病者を乗せ、頭部側を持ち上げて後方に搬送

歩行不能な傷病者を、 毛布やシーツを使って 危険な場所から一人で 搬送する方法です。

組手を使った搬送方法 (二人搬送)









担架が無い場合に、場合病を危険な場所を危険を表示をは場所を表示をは、なるでは、ないのでは、ないで

応急担架を使った搬送方法



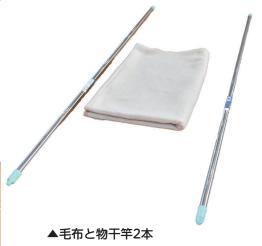












担架が無い場合に、歩行不能な傷病者を危険な場所から4人以上で搬送する方法です。物干竿2本と毛布を使って、応急の担架を作ることができます。毛布が無い場合は、上着(5着程度)を使ったり、物干竿が無い場合は、毛布の両端を丸めて持ちやすくして運ぶこともできます。















令和5年度

防災士フォローアップ研修を開催しました

本市の「防災士育成研修」で資格を取得した人などを対象としたフォローアップ研修を7月29日出に中央小学校で開催し、約70人の地域の防災士や女性消防団員のみなさんが参加しました。

搬送法や新聞紙活用などの防災ライフハックの実習や、前日に行われた地域防災支援員(地域の避難所の開設・運営を支援する市職員)の研修で設営された避難所資器材の説明、プールの水を浄化する緊急時用浄水装置の説明など、実践的な避難所開設研修の他、防災ハザードマップの説明も行いました。

防災士は地域の防災活動や災害時の避難誘導など

地域防災には欠かせない存在で あることから、 泉佐野市では得後の を通して地域の でいます。



研修に参加された地域のみなさんの感想

して、 険な場所があるんだなと 説明については、泉佐野 すが、今回の研修に参加 像で見ることはあるんで しっかりと見ていきたい たりする所をこれからも ップを見て、 感じました。 市にこんなにたくさん危 んのお世話をできるよう できたことがすごく良か しました。災害をよく映 ったなと思います。 になったり、実際に体験 防災ハザードマップの たの 防災士資格の勉強を 被災者側や救援側 で、 いつも歩い ハザードマ 町 のみなさ



赤坂啓子さん



山瀬徳行さん

るので、 ず新しい状況になってい わずやってくる」。 ろにやってくる」「所構 今や災害は、「忘れたこ 思ってます。 っと研修に参加してもら 程度ですが、 いきたいと思います。 いたいと思っています。 人います。 私の地域は200世 頑張って学んで 地域の人にも 防災士が13 13 絶え

勉強しないといけないとお強しないといけないと思いました。昨年の防災ハザードマルと思いました。昨年の防災ハザードマかがと思いました。などは自分の地域でもすなどは自分のがしばでもすなどは自分のがしばでもする訓練る内水氾濫が加えられる。

いうと、 災害などにも気をつけな した。 いといけないんだなと感 が、意外とため池や川の かと思ってしまうんです 思います。 も思い出せてよかったと って忘れがちなんですけ 変わっているなと感じま ていて、 がちょっとずつ良くなっ ど、こういう機会に自分 よりも、 防災ハザー 年か 普段、災害の まず津波のこと 時代に合わせて 防災資機材など ドマップと 事



紺谷久枝さん